



クリーニングすれば ふんわりあったか!!

一般に、冬は夏よりも皮脂や汗が少ないと思われがちですが、暖房や防寒衣料によって、意外に皮脂や汗が出ています。

◎皮脂成分が繊維の空気層をふさいでしまう

ウールなどの繊維製品を着ると温かいのは、繊維が空気の層をつくり、この閉じ込められた空気の層が、断熱効果を発揮するからです。皮脂は、繊維の隙間に入り込んで、接着剤のように繊維どうしをくっつけてしまうので、空気の層がつぶれて、保温効果が低くなってしまうというわけです。クリーニングで自然な温かさを取り戻してください。

◎汗に含まれる塩分が湿気を吸収し体温を奪う



空気層を作るウール繊維の
クリンプ(縮れ)



汚れ成分によって
空気層がつぶされると
保温性が低下します



汗には塩分が含まれていません。塩分は湿気を集める性質があり、その湿気が蒸発するため熱が奪われて寒く感じるようになります。何度か着用したセーターの首回りが冷たく感じるのはこのためです。